

1119億円の  
基金を活用して

# コロナ対策を最優先に

日本共産党  
渋谷区議団



新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種が一部で開始されましたが、収束が見通せず、区民は不安な毎日を強いられています。区民が安心して生活できるようにすることは政治の責任です。

日本共産党区議団は、昨年秋と今年1月にコロナ緊急アンケートを実施し、区議会第一回定例会で区民がコロナ禍で苦しむ声をとどけ、区のため込んだ1119億円を活用して、区独自のコロナ対策を実施し、区民の暮らし第一に税金の使い方を切り替えるよう提案しています。

拡充  
PCR検査の

## 定期的PCR検査を

高齢者、障がい者施設、保育園、幼稚園、学校などの職員と利用者に。

## 「社会的検査」を

感染集積地などで無症状者の発見、保護を。

松戸市では全市民を対象にPCR検査を2月から実施しています。

困っている  
人たちがへ

## 生活支援手当の支給

コロナ禍で、くらしは深刻です。当面、非課税者に生活支援手当の支給を。

区民の声

- 「突然解雇され家賃が払えません」(40代女性)
- 「仕事がなくなり手持ちもあとわずか、助けてください」(50代男性)

守る  
地域医療を

## 医療機関、医療従事者への支援

コロナ対応の第一線で奮闘する医療機関への減収補てんと医療従事者へ慰労金支給を。



## 保健所の体制強化を

保健所の人員不足は深刻です。今後に備え、保健所職員の増員を。コロナ専門病院に指定された都立広尾病院の独立行政法人化中止を。

墨田区では新規採用の保健所職員を10人以上増やす予定です。

## 中小事業者へ営業が継続できる支援を

零細企業の倒産や休廃業が急増。国は、持続化給付金や家賃支援給付金の再支給と減収前の売上に応じた協力金の支給を。区独自に、家賃等の固定費助成を。

区民の声

- 「二度の緊急事態宣言で仕事が激減。一度目は持続化給付金などでなんとかやりくりしてきたが、今回は何もなし。心底困っている」(区内の自営業者)

“暮らしSOS”に応えます。☎03(3463)1038へ。

日本共産党  
渋谷区議団



いがらし千代子

幹事長  
総務委員  
多様性社会推進特別委員



トマ 孝二

副幹事長  
文教委員、五輪・パラリンピック対策特別委員



牛尾まさみ

副幹事長  
区民環境副委員長  
交通・公有地問題特別委員



田中まさや

区議団長  
福祉保健委員  
自治権確立特別委員長

日本共産党  
渋谷区議団ニュース

2021年 第1回定例会特集  
渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内  
TEL 3463-1038 FAX 5458-4963

日本共産党渋谷区議団へのご意見・ご要望を、ぜひお寄せください。  
●ホームページ <http://www.jcp-shibuya.jp>



